

平成20年8月22日

「まちめぐりナビプロジェクト(まちナビ)」の実施地域について ～九州3地域を選定～

国土交通省では、平成18年度から観光客への情報提供の高度化による移動支援の先進的な事例をつくるために、公募によるプロジェクト(資料1)を実験的に実施しており、平成20年度実施分については、公募締め切りまでに全国から47件の応募がありました。

寄せられた案件について、学識経験者等から構成された「まちめぐりナビプロジェクト検討会」(資料2)にお諮りし、20件を推薦頂きました。国土交通省では、いずれの案件もプロジェクトの趣旨に合致することから、推薦案件すべてを支援対象とすることとしましたのでお知らせします。

なお、このうち九州では、資料3のとおり3件(竹田市・九重町、熊本県全域、宮崎市～日南市飫肥地区)が支援対象となり、今後、各地域において実証実験に着手していきます。

【資料】

- (資料1) まちめぐりナビプロジェクト(まちナビ)の概要
- (資料2) 平成20年度まちめぐりナビプロジェクト検討会名簿
- (資料3) 平成20年度まちめぐりナビプロジェクトの実施地域(九州)
- (参考) 平成20年度まちめぐりナビプロジェクト実施地域一覧(全国)

同時発表 国土交通省(総合政策局事業総括調整官室、観光地域振興課 道路局企画課)

問い合わせ先

九州地方整備局 企画部 機械施工管理官 岡本

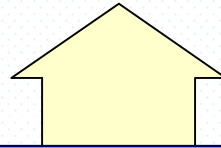
電話 092-471-6331 (内線 3132)

九州運輸局 企画観光部 観光地域振興課長 押井

電話 092-472-2920

「まちめぐりナビプロジェクト(まちナビ)」の概要

国土交通本省



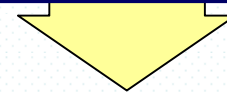
選定



まちめぐりナビ
プロジェクト検討会

地方整備局・運輸局等

応募



事業実施

まちめぐりナビプロジェクト(まちナビ)

交差点標識とカーナビ等を連携させた案内システムの構築

標識や電子媒体等様々なメディアが連携・補完できる情報提供システムの構築

外国人を含めた観光客に対する防災情報ネットワークの整備

観光案内施設による観光客の属性に応じたきめ細かな情報提供

カーナビや情報拠点施設の活用等による、隣接観光地の連携した広域的な情報提供

移動経路や施設情報に対する観光客のニーズをふまえ、随時更新できる情報提供システムの構築

評価・分析

結果公表

他地域への応用

「まちめぐりナビプロジェクト(まちなび)」のメニュー例

行政

バリアフリー情報

施設内案内標識



音声案内付案内標識

カーナビと案内標識



交差点標識とカーナビ等を連携した案内システム

移動式観光案内所



観光案内施設によるきめ細やかな情報提供

携帯と案内標識



様々なメディアが連携・補完できる情報提供システムの構築

観光事業者

観光地情報

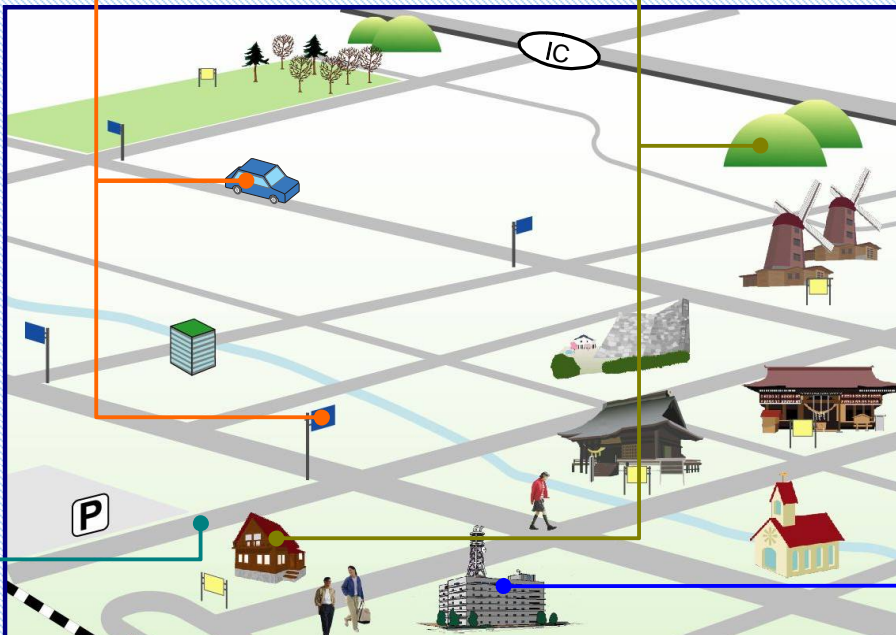
交通事業者

アクセス情報

パンフレットと案内標識



通りの名前を利用した道案内



観光・防災ネットワーク



外国人を含めた観光客に対する観光・防災情報ネットワークの整備

道路管理者

道路情報

総合的な観光情報提供システム (データベース等)

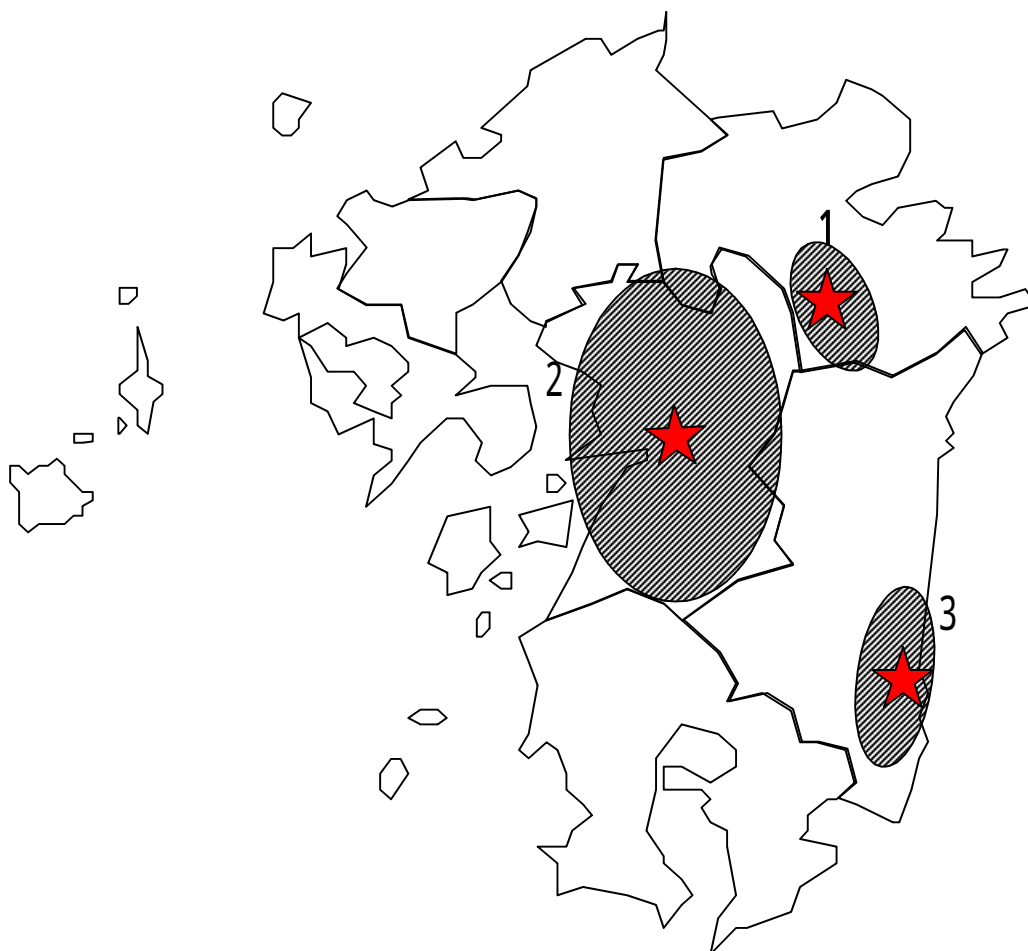
平成20年度まちめぐりナビプロジェクト検討会
名簿

(座長)

- | | |
|----------|----------------------|
| 家田 仁 | 東京大学大学院工学系研究科教授 |
| 赤瀬 達三 | (株)黎デザイン総合計画研究所代表取締役 |
| 梅川 智也 | (財)日本交通公社研究調査部長 |
| 岸井 隆幸 | 日本大学理工学部教授 |
| 桐谷 エリザベス | アナウンサー・フリージャーナリスト |
| 古賀 学 | 松蔭大学観光文化研究センター教授 |
| 中井 祐 | 東京大学大学院工学系研究科准教授 |
| 廻 洋子 | 淑徳大学国際コミュニケーション学部教授 |

(敬称略、座長を除き五十音順)

まちめぐりナビプロジェクト実施案件(九州)



	県名	協議会名称	計画対象地域	主な事業内容
1	大分県	やまナビ・広域プロジェクト推進協議会	竹田市 九重町	やまなみハイウェイエリアの情報を統合的に閲覧・入手できるようにデータ及びシステム(通称:やまナビ)を整備し、観光客は、イベント情報、その周辺の観光情報、車での移動の際のユーティリティー情報を事前にプランにして移動する。併せてそのプラン化を支援するシステムを整備する。
2	熊本県	風景街道くまもと戦略会議	熊本県全域	市民参加型の観光情報、交通情報等が一元化されたデータベースを構築し、地域市民による観光情報サイトを観光客が入手する。観光案内所や主要観光施設においても、サイト情報を紙媒体、ポップ、QRコード等で情報提供する。
3	宮崎県	日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会 日南海岸地域シーニックバイウェイ行政連絡会	宮崎市～日南市 飫肥地区	観光業者、地域活動団体等の連携協働のもと、旅の計画に必要な情報提供を行い、観光客の評価ができるよう併せてシステム化し、主要施設にドライブマップを設置、又、通り名と連動させた「まち歩きマップ」を作成し観光客の情報提供を図る。海外観光客のニーズを把握するためにホテル・観光施設のスタッフ、国際交流員が中心となり調査を実施する。

まちめぐりナビプロジェクト 実施地域一覧

参考

No	都道府県名	協議会名	計画対象地域	主な実施内容
1	北海道	富良野市国際観光促進協議会	富良野市	増加する外国人長期滞在者への対応として、国際観光センターとラジオ局が連携した「富良野型情報循環システム」(生活・観光情報の収集・翻訳・提供等)の構築、携帯電話による外国人直接案内、貸し出した携帯電話・PDA等への情報配信、トラベル・カフェネットワークの構築(店舗・居酒屋・GSなどを利用)などを実施する。
2	岩手県	奥州街道ネットワーク	二戸市～一戸町	近年の健康志向やエコへのニーズを踏まえ、「街道」と「歩く旅」をキーワードに、テーマ別モデルコースを紹介、既存のサイトと連動したHPでの観光情報の提供、案内板や情報提供用パソコンの設置などを実施。また、沿道の景観などをテーマにした写真コンテストを実施する。
3	秋田県 岩手県	リアルタイム観光情報提供システム構築委員会	秋田県北秋田市、仙北市、岩手県雫石町	県境を越えた地域間連携、宿泊施設・地場産業・体験農家等の連携の不足を解消するため、情報を一元化し操作性・視認性を重視したポータルサイトを作成するとともに、GPSやQRコードによる現地の観光情報及び地図情報の提供などを実施。また、HPの外国語翻訳を実施する。
4	福島県 山形県	会津・米沢地域観光圏整備推進協議会	福島県喜多方市、会津若松市、下郷町、南会津町、山形県米沢市	従来の日帰り・通過型観光を長期滞在型観光にシフトし、またリピーターを増やすため、広域エリア全体の観光コース設定、連動した情報提供を実施。バス・列車などにGPSと連動する観光案内ディスプレイの設置、QRコード付きの見どころ冊子(外国語にも対応)の作成、コミュニティFMによる情報発信などを行う。
5	福島県	奥州・羽州街道「桑折宿」パートナーシップ	桑折町及び羽州街道関連地域(国見町、七ヶ宿町、高島町など)	桑折町・羽州街道の認知度向上、案内体制・ツールの整備などを目指し、俳句・川柳・短歌コンテストの実施、地域資源と俳句等を合わせたまち歩き・街道観光コースの設定、「Photowalker」を用いたWeb上でのまち歩きの疑似体験、アクセス・駐車場情報の提供などを実施。また、町民のまちづくり活動への意識向上のため、おもてなしの手引きを整理し共有する。
6	千葉県	みなと木更津再生構想推進協議会	木更津市及び周辺集客施設	南房総の玄関口である海ほたるから市内への誘導を図り、回遊を促進するため、2泊3日の「歴史探訪」観光コースの提案、まち歩き情報発信によるスタンプラリーの実施、QRコード等を用いたHPによる情報提供・予約システムの整備を実施。また、アクアラインの開通、羽田空港の再拡張による外国人客の増加に備え、観光情報の多言語化を図る。
7	山梨県	甲州市交流まちづくり協議会	甲州市	観光資源を生かし、観光客の志向・ニーズに適った情報提供を行うため、観光・ルート案内情報のDB構築、多言語案内できるまちソムリエの育成、HPによるフットパス・ウォーキング等のルート案内、GPS携帯によるカロリー消費量計算などを実施。また、果樹園体験・ワイン造り体験と併せてブドウの成長状況・ワインの発酵過程等も発信するなど体験メニューを紹介する。
8	新潟県	越後妻有アートナビゲーション整備協議会	十日町市、津南町	「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」で制作された約160の現代アートや他の観光資源が里山に点在しているため、周遊の効率化が必要。滞在時間や観賞希望に応じたオンデマンドマップ作成システムの構築、アートの看板に貼付けたQRコードによる作品解説・位置・周辺情報の提供(2カ国語対応)、道案内・休憩のための立寄り処「ホッとひと駅」の登録などを実施する。
9	岐阜県	飛騨の匠街道推進協議会	高山市、飛騨市、下呂市、白川村	広域観光連携に取り組む当地では、各都市の個性を生かして回遊性を創出する一方、飛騨地域としての新たな広域アイデンティティを創出することが必要。このため、「飛騨の匠」の資源調査、「飛騨の匠街道」の広域サイト開設、マップコードを活用したカーナビ・携帯等によるルート案内、多言語広域マップの作成、統一ロゴ作成、簡易案内標識の設置、広域ガイド育成、モニターツアーなどを実施する。
10	静岡県	静岡二峠六宿街道観光協議会	静岡市、由比町、岡部町(旧東海道宿場及びその周辺と薩埵峠・宇津ノ谷峠)	東海道2峠6宿としての歴史・文化を生かし、一体性や関連性を見い出すことにより地域の魅力を引き出すため、新たな価値を生むウォーキング観光を目指し、地域資源調査、旅の習熟度・関心分野による層化コンテンツの作成、多様なツアープログラムの設定、統一ロゴやQRコードを貼付けた案内板・マップ作成、地元住民や外国人留学生をガイドとして育成する。

No	都道府県名	協議会名	計画対象地域	主な実施内容
11	三重県	(社)伊勢志摩観光コンベンション機構	伊勢志摩地域(伊勢市、鳥羽市、志摩市)	滞在型観光へのシフト、リピーターの増加を図るため、伊勢神宮などの定番コースだけでなく、イベント等時限性の高い旬の情報の提供を目指し、ETCを活用した会員登録制の情報配信を実施。観光施設にETCアンテナを設置し、通過時に来訪日・曜日・時間・場所・天候に応じた観光・交通情報等のデータ配信、携帯によるまち歩きガイドマップサービスの提供などを行う。
12	京都府	「源氏物語千年紀」フラワーツーリズム推進協議会	京都市、宇治市	外国人観光客を含めて京都を訪れる観光客にリアルタイムの「花情報」を電子ポスター、ホテル客室TV、WEB、カーナビ、携帯端末など多くの端末に提供する。
13	兵庫県 大阪府	歴史街道推進協議会	兵庫県西宮市、伊丹市、宝塚市、芦屋市、尼崎市、神戸市東部、大阪府豊中市、池田市、箕面市、大阪市北西部	QRコード入りの広域パンフレット等を大阪・神戸の主要ホテル、主要駅等の施設へ設置し、阪神間の博物館等10施設を対象に携帯電話・QRコードを活用した1分程度の映像で学芸員による施設案内を行う。また、駅・高速出口から施設までのナビを併せて実施する。
14	鳥取県 島根県 岡山県	大山パークウェイまちナビ協議会	鳥取県米子市、境港市、大山町、伯耆町、南部町、日吉津村、琴浦町、江府町、島根県松江市、岡山県真庭市	道の駅やSAの中心となる観光施設など、拠点施設における圏域案内板の設置により、QRコードにアクセスした観光客に対して、地域の日替わり情報を提供する。マップコードを活用し、カーナビ利用者の目的地への周遊を円滑化させる等により観光客の周遊を促進する。
15	広島県	(仮称)広島まちめぐりナビプロジェクト協議会	広島市、廿日市市、呉市、東広島市	既存の観光情報サイトである「ひろしまナビゲーター」に、市内の主な観光地や交通拠点、ランドマークなどの約50箇所への徒歩、公共交通機関、自動車等による移動方法・所要時間の検索システムを追加するとともに、身障者、高齢者、外国人利用に対応する音声ガイドデータのダウンロードサイトを同時に開設する。併せて、利用者ニーズを把握するために「評価のページ」を設けて、システムの充実につなげる。
16	高知県	大月町-三原村 牧野富太郎と歩くナビ推進協議会(仮称)	大月町、三原村	地域に点在する植物を主体とした観光資源をRFIDタグ・QRコードを用いて管理し、観光客の所有する(又は、貸出する)携帯電話で入手し・マップ化できるようにする。併せて、植物情報のデータ更新により季節マップを配信する。
17	高知県	須崎市まち全域がサービスエリア構想推進委員会	須崎市	観光客の所有する携帯電話のGPS機能を用い、観光目的地までの移動を促進するシステムを構築するとともに、観光客の行動履歴をデータベース化することによって、新規顧客個々のニーズにあった観光情報の提供を可能とする。また、市内各所に設置しているQRコードを用いて、映像等を交えた情報を配信する。
18	大分県	やまナビ・広域プロジェクト推進協議会	竹田市、九重町	やまなみハイウェイエリアの情報を統合的に閲覧・入手できるように、データ及びシステム(通称:やまナビ)を整備し、観光客は、イベント情報、その周辺の観光情報、車での移動の際のユーティリティ情報等を事前にプランにして移動する。併せてそのプラン化を支援するシステムを整備する。
19	熊本県	風景街道くまもと戦略会議	熊本県全域	市民参加型の観光情報、交通情報等が一元化されたデータベースを構築し、地域市民による観光情報サイトを観光客が入手する。観光案内所や主要観光施設においても、サイト情報を紙媒体、ポップ、QRコード等で情報提供する。
20	宮崎県	日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会 日南海岸地域シーニックバイウェイ行政連絡会	宮崎市～日南市飫肥地区	観光業者、地域活動団体等の連携協働のもと、旅の計画に必要な情報提供を行い、観光客の評価ができるよう併せてシステム化し、主要施設にドライブマップを設置、又、通り名と連動させた「まち歩きマップ」を作成し観光客の情報提供を図る。海外観光客のニーズを把握するためにホテル・観光施設のスタッフ、国際交流員が中心となり調査を実施する。